

研究課題名 (承認番号)	DPC データを用いた急性白血病の予後に関する研究 (承認番号2017-19番)
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 血液内科 氏名 山本 晃
研究期間	(西暦) 年 月 ~ 年 月
研究の意義・目的	<p>大学病院や規模の大きい市中病院は、DPC という診療制度で診断や治療を行っています。DPC の病院は、入院した患者さんの診断や治療の内容のデータを厚生労働省に提出することになっています。</p> <p>この研究では、たくさんの急性白血病の患者さんのデータを集めて、例えば土曜日や休日に入院した患者さんは治りにくい、無菌室に入った患者さんは治りやすい、等の患者さんの治りやすさを研究するものです。</p> <p>研究結果によって、無菌室を有効に活用して、白血病を直しやすくするなどの医療の質の改善につながると考えられます。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>2014 年 4 月から 2016 年 3 月の全国の赤十字 DPC 病院及び研究に協力する急性期病院の入院患者から抽出した急性白血病の患者さんのデータを集めます。</p> <p>数千人の患者さんのデータを分析して、曜日別の入院患者さんに分けたり、無菌室に入った患者さんと入らなかった患者さんを分けて、治りやすさを分析します。</p>
個人情報の取り扱い	集めるデータには、患者さんの名前や住所などの個人情報は含まませんので、患者さんの個人情報は保護されます。
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 血液内科 氏名 山本 晃</p> <p>TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) FAX:045-628-6101</p>